平成 25 年 1 月 28 日

各　　位

会 社 名　サイオステクノロジー株式会社
代表者名　代表取締役社長　喜多　伸夫
（コード番号　3744　　東証マザーズ）
問合せ先　執 行 役 員　　小 林 徳 太 郎
電　　話　０３－６８６０－５１０５

業績予想の修正及び剰余金の配当（復配）に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 7 月 27 日に公表した業績予想を下記のとおり修正するとともに、剰余金の配当について決議しましたのでお知らせいたします。

記

１．業績予想の修正

（１）平成 24 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	5,800	50	50	0	0.00
今回修正予想（B）	6,029	111	106	34	397.32
増減額（B－A）	229	61	56	34	397.32
増減率（%）	4.0%	122.4%	112.8%	－	－
（ご参考）前年同期実績（平成 23 年 12 月期）	5,110	△155	△161	△247	△2,855.79

（２）修正の理由

当連結会計年度における国内企業の情報化投資は、長く続いてきた円高の影響や復興需要の一巡により、引き続き抑制傾向が見られました。このような中、当社グループは、IT を通じて顧客企業のコスト削減や競争力強化を実現すべく、引き続き高い成長が継続しているクラウドコンピューティング(*1)や、従来からの強みであるオープンソースソフトウェア(*2)に関連する領域での活動を推進し、景気の波に左右され難い最先端分野での事業拡大に注力しました。

この結果、当連結会計年度は、「LifeKeeper」(*3)、「Red Hat Enterprise Linux」(*4)、「MFP 関連ソリューション」(*5)が引き続き堅調な売上を見込めることから、通期連結業績予想の売上高を 6,029 百万円（前回予想比 4.0%増）へ修正します。

一方、新たなビジネス創出に向けた研究開発や営業・マーケティングに係る費用が増加する見込みですが、前述の売上高の増収によりこれらを吸収し、営業利益は 111 百万円（前回予想

比 122.4％増)、経常利益は 106 百万円（前回予想比 112.8％増)、当期純利益は 34 百万円（前回予想は当期純利益０百万円）へ前回予想をそれぞれ上方修正します。

２．剰余金の配当（復配）

（１）配当の内容

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり剰余金の配当議案を第16回定時株主総会（平成25年３月22日開催予定）に付議することを決議しました。

	決　定　額	直近の配当予想 (平成24年７月27日予想)	前　期　実　績 (平成23年12月期)
基　準　日	平成24年12月31日	同左	平成23年12月31日
１株当たり配当金	300円00銭	0円00銭	0円00銭
配 当 金 総 額	26百万円	－	－
効 力 発 生 日	平成25年３月23日	－	－
配　当　原　資	利益剰余金	－	－

（２）理由

当社は今後の事業展開に備え経営体質を強化すること、並びに株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しています。利益配分につきましては、経営成績、財政状態及び今後の事業展開を勘案し、必要な内部留保を確保しつつ、業績に応じた配当を継続していくことを基本方針としており、連結当期純利益の黒字を前提として検討することとしています。

当連結会計年度におきましては、売上高は堅調に推移し、当期純利益の黒字が達成出来る見通しとなりました。これにより、配当に向けた環境が整ったものと判断し、平成18年12月期以来６期ぶりに復配させていただく方針としました。

当期末の配当金は、企業体質の強化や事業拡大に要する内部留保の充実に努めることを勘案し、１株当たり300円とすることを本年３月22日開催予定の第16回定時株主総会に付議することとしました。

【参考】年間配当の内訳

	１株当たり配当金（円）		
基　準　日	第２四半期末	期末	年間
当期実績（平成24年12月期）	０円	300円	300円
前期実績（平成23年12月期）	０円	０円	０円

(*1) クラウドコンピューティング
　コンピュータ処理をネットワーク（通常はインターネット）経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。
(*2) オープンソースソフトウェア
　ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。
(*3) LifeKeeper
　米国子会社 SIOS Technology Corp. （旧 SteelEye Technology, Inc.）の開発製品。本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担う HA（ハイアベイラビリティ）クラスターソフトウェア。
(*4) Red Hat Enterprise Linux
　世界をリードするオープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が開発する Linux OS。
(*5) MFP 関連ソリューション
　MFP(Multi Function Peripheral の略、1 台でプリンタ、スキャナー、コピー、FAX などの機能を兼ねる機器など複数の機能を搭載した複合的な周辺機器のこと。)上で操作できる文書管理ソフト「Quick スキャン」等。

（注）本業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。また、上記金額は百万円未満切捨で表記しており、増減率は円単位で計算した後に小数点以下第２位四捨五入で表記しています。

以上